

村上市下水道統合データベース構築業務委託
公募型プロポーザル審査要領

令和8年10月

村上市 上下水道課

1 基本方針

村上市下水道統合データベース構築業務委託のプロポーザル審査は、提出された各様式・企画提案書等の内容及びプレゼンテーションの優秀性により受託候補者を選定するために行う。

2 審査の実施

審査は、総務課長、財政課長、建設課長、上下水道課長、下水道工事室 室長含む室員2名の計6名を審査員として行う。また、選定の参考として関係職員が同席する場合がある。

3 審査の対象

審査の対象は、村上市下水道統合データベース構築業務委託プロポーザル実施要領の参加資格要件を満たしている事業者とする。

4 審査の方法

(1) 一次審査（書類審査）

一次審査は、企画提案書について書類審査を実施し、審査項目ごとに評価点を算出する。算出した評価点は、その事業者の一次審査の評価点とする。参加表明書等の提出が4者以上の場合は、書類審査により3者を選定し、二次審査参加者とする。ただし、複数者が同点である場合は、3者より多くを選定できるものとする。

ア 実施日(予定) 令和8年10月21日(水)

イ 結果の通知(予定) 令和8年10月23日(金)

※ 二次審査の会場、順番、事業者ごとの開始時間などの詳細は、一次審査の結果とともに、通過した者に通知する

(2) 二次審査（プレゼンテーション及びデモンストレーション）

二次審査は、一次審査を通過した者を対象に、企画提案書に基づくプレゼンテーション及び当市が用意したLGWAN端末を利用して導入予定の庁内GISと同等のシステムに接続しデモンストレーションを行い、その後質疑応答を実施する。終了後、審査項目ごとに評価点を算出する。算出した評価点は、その事業者の二次審査の評価点とする。

ア 実施予定日

令和8年10月下旬に行うものとし、日時及び会場は別途通知する。

イ 使用機材

プロジェクター、接続用ケーブル:HDMI、スクリーン、電源ケーブル、マイク、デモンストレーション用のLGWAN端末は市が用意する。プレゼンテーション用のパソコン等其他機材については提案者が用意すること。

ウ タイムスケジュール

プレゼンテーションは、1者ずつの呼び込み方式とし、1者の持ち時間は、説明及びデモンストレーションで50分、その後質疑応答10分の計60分とする。終了後速やかに片付けを行うこと。(事前準備及び後片付けは時間に含まない。)

エ プレゼンテーションの内容は、提出のあった提案内容に基づくものとする。なお、追加の資料は一切認めない。

オ プレゼンテーションの説明者は、補助者を含めて6名までとする。

カ デモンストレーションは以下の内容を含んだものとする。

No.	内容
【下水道台帳管理システム（庁内 GIS）】	
1	基本操作（拡大縮小・移動・レイヤの切り替え等）
2	属性検索・表示・集計
3	図面出力
4	縦断面図作成・上下流追跡・土被り計算・枳の新規作成・調書出力
5	維持管理情報（苦情・事故・点検・調査など）の参照及び更新
6	登録した施設情報・ファイリングデータの参照及び更新
7	モバイルシステム利用方法
8	モバイルシステムを用いた現地調査方法など
9	独自提案機能
【下水道台帳公開地図サービス（公開型 GIS）】	
1 0	画面構成の説明
1 1	サービス利用者向け機能（お知らせ情報・操作説明・利用規約）
1 2	検索
1 3	属性参照
1 4	印刷・ファイル出力
1 5	庁内 GIS から公開型 GIS への公開手順

（3）見積価格審査（価格審査）

見積価格審査は、一次審査を通過した者を対象に、提案見積額の審査を行う。なお、審査は二次審査後に行い、評価点は評価者が事前に定めた算出式により算出する。

（4）受託候補者の選定

ア 受託候補者は、一次審査、二次審査及び見積価格審査の評価点の合計点が、最も高い者とする。

イ 複数の事業者が同得点だった場合は、一次審査の「4 企画提案」と二次審査の「3 システムの操作性」に対する評価点の合計点が高い方を上位とする。

ウ 上位の事業者が辞退または失格となった場合は、評価点の合計点が高い者から順に受託候補者とする。

（5）最終選考結果通知

最終選考結果は、各提案者宛てに、令和8年10月下旬に通知する。

5 審査の項目及び配点

審査項目及び配点は、次のとおりとする。

(1) 一次審査の審査項目及び配点

審査項目	配点
1 企業情報	25
2 業務実績	90
3 実施体制	55
4 企画提案	275
5 機能一覧からの評価	335
一次審査 合 計	780

(2) 二次審査の審査項目及び配点

審査項目	配点
1 提案姿勢	50
2 システムの操作性等	120
3 質疑への回答姿勢・能力	50
二次審査 合 計	220

(3) 見積価格審査項目及び配点

審査項目	配点
令和8年度～令和12年度分の見積書による経費	300
見積価格審査 合 計	300

6 審査基準、配点

(1) 企画提案書による評価：一次審査

No	審査項目	評価内容	細目	配点
1	企業情報	企業情報	・JIS Q27001 (ISO27001、ISMS:情報セキュリティマネジメントシステム) 必須要件 ・JIS Q15001 (プライバシーマーク:個人情報セキュリティ) 必須要件 ・LGWAN—ASP登録資格(J-LIS:地方公共団体情報システム機構) 必須要件 ・建設コンサルタント 下水道分野の業登録 ・測量業登録 ・ISO9001 (品質) ・ISO55001 (アセットマネジメント) ・ISO27017 (クラウドセキュリティ認証)	25
2	業務実績	業務実績	「公開型GIS」の導入実績 ※自治体数を確認 「下水道台帳管理システム」の導入実績 ※自治体数を確認 「地域未来交付金デジタル実装TYPEA」と同種の交付金を活用した業務実績 ※自治体数を確認(複数の同一自治体の案件は重複させない) ※「デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ TYPE1)及び新地方創成交付金デジタル実装TYPE1も含める - 村上市の下水道台帳管理システムの業務実績	90
3	実施体制	本業務の内容を安定的に実施できるよう、適切な人員や業務経験者などが割り当てられているか。	- 管理技術者の保有資格 - 同種業務実績保有者・有資格者の配置状況 - 村上市内の事業者の利活用 - 村上市下水道事業に係る業務実績のある技術者の配置 - その他特筆すべき協力事業者	55
4	企画提案	- 業務の実施方針・理解度 - 業務スケジュール - 導入システム - 資料収集について - データ整備について - システム構築について - 台帳補正作業 - 運用・保守 - 独自提案	- 本業務の目的に合致した内容であるか - 業務実施方針は業務の趣旨を踏まえたものか - 具体的な業務工程が示されているか - 基本要件(サービスカタログ掲載、DMP掲載、公共Saas認定)について - バージョンアップ・改修に係る費用(有償・無償)の基本的な考え方 - 対象は公開型GIS、下水道GIS、モバイル機能 - メンテナンス性 - システムの構成について - セキュリティについて - 資料収集の方針 - データ整備の方針 - 既存下水道台帳データの統合の作業について - システム構築の考え方 - 公開型GIS機能 - 庁内GIS機能 - モバイルシステム - 台帳補正作業について - 障害発生時の対応。運用サポート(クラウド・現地)体制 - 仕様書の要求事項にない、独自の優れた提案がなされている	275
5	機能一覧から評価	- 機能一覧(共通機能) - 機能一覧(下水道機能) - 機能一覧(管理ツール) - 公開型GIS機能要件(モデル仕様書) 必須要件 - データセンター要件(庁内GIS及び公開型GIS) - 機能一覧(下水道台帳モバイルシステム)		335
	合計			780